

福島県防犯協会連合会「平成28年地域安全作文」中学生の部

最優秀賞

山木屋中学校1年

三浦 華歩

かほ

さん（山木屋・13歳）

いつも笑顔であいさつをしてくれる
優しい方へ。
子ども・地域見守り隊のみなさんへの
感謝の気持ち、そして
私の思いを書きました。

Title

私の町は安全安心

(原文のまま掲載)

山木屋中学校1年 三浦華歩

私の町では、小学生が見守り隊の方々と下校するところを目にすることがあります。

見守り隊の方々は、小学生と楽しく話をしながら下校しています。この方々のおかげで、安全に登校することができているのだな、と思いました。

毎朝、横断歩道の前で私達を見守ってくださる方々がいます。いつも笑顔であいさつをしてくれる、優しい方です。

私は、あまり誰かにあいさつをすることがないので、最初は頭を下げるくらいでした。でも、毎朝あいさつをしているところを見ていて、私もすっかりあいさつをするようになりました。

「気をつけてね。行ったらっしやい。」

そう一言言ってもらえるだけで、とても嬉しかったです。この優しい一言で、町が守られている

のだと思います。

私の町は、今とても安全だと思います。それは、みんながいつも笑っているからです。

町を歩いていても、学校にいても、必ず笑っている人を見ます。当たり前のことかもしれないけれど、嬉しいことだと思います。

この町が安全だから、みんなは安心して笑顔になれるのだと思います。もし安全でなかったら、安心することができなかったら、笑っている人はいないと思います。

安全なだけではなく、みんなが安心できる町をつくっていくことが大切なのだと思います。

安全で安心できる町をつくる。そのためには、地域に住んでいる人がみんな協力することが大事だと思います。地域みんなが力を合わせることができたら、どんなことがあっても楽しく生活するこ

とができると思います。

すれ違った人にあいさつをする。行事に参加する。こんな小さなことでもやっていくことが大切だと思います。そうすれば、安全で安心な町をつくっていくことができると思います。

今ある町の安全が、「当たり前」だとは、思っていないと思います。

町の安全を考え、毎朝、私達を見守ってくれている見守り隊の方々への、感謝の気持ちを忘れずに、生活していきたいと思っています。

たくさんの人に私の町の良いところを知ってもらい、いつまでも安全で安心な町にしていきたいです。何もしなければ良くなることはないと思います。

だから自分は、「今、何ができるのか」、「何をしなければいけないのか。」を考え、一日一日生活をしていきたいです。